

施策番号	1601		
施策名	高齢者の尊厳を保つ社会の構築		
概要	世代を越えて支え合う社会の構築のため、長寿社会への理解と認識を深める取組を推進するとともに、高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数(件)	c	b	96	93	106	87.7%	c	1.00
2	成年後見支援センター利用者数(人)	-	a	4,840	5,840	5,734	101.8%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない			
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充 実した暮らしを送れている。	c	c	43	184	246	123	64	660	c	
				6.5%	27.9%	37.3%	18.6%	9.7%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c	

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					平成30年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一部の高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						平成29年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実が図れているものの、高齢者のくらしの充実につながるものとして、広く実感されていないことから、4割弱の方がどちらとも言えないと回答しており、昨年度に引き続きc評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	軽費老人ホーム(ケアハウス)利用料補助	395,147	391,481	良い	保健福祉局
2	特別日用品費支給	23,177	24,672	普通	保健福祉局
3	短期入所生活介護緊急利用者援護事業	3,906	5,731	良い	保健福祉局
4	日常生活用具給付等事業	24,105	24,611	良い	保健福祉局
5	家族介護用品給付事業	146,641	160,878	良い	保健福祉局
6	高齢外国籍市民福祉給付金支給事業	11,601	10,717	普通	保健福祉局
7	高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成事業	2,347	2,347	良い	保健福祉局
8	高齢者虐待防止事業	8,321	8,451	良い	保健福祉局
9	虚弱高齢者等入浴支援モデル事業助成	79	79	かなり良い	保健福祉局
10	高齢者虐待シエルター確保事業	1,770	2,162	かなり良い	保健福祉局
11	認知症高齢者等権利擁護推進事業	122,288	123,261	普通	保健福祉局
12	京都市長寿すこやかセンター	164,902	168,434	—	保健福祉局
13	高齢者あんしんお出かけサービス～小型GPS端末機の貸出～	4,093	4,478	良い	保健福祉局
14	認知症あんしん京(みやこ)づくり推進事業	10,339	11,551	良い	保健福祉局
15	～地域で気づき・つながり・支える～認知症総合支援事業	65,483	94,429	かなり良い	保健福祉局
16	認知症疾患医療センター運営事業	3,896	5,314	かなり良い	保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・関係機関・団体と連携し、成年後見制度の普及・啓発、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援などに取り組み、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現を図る。

施策名	1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築				
-----	------	----------------	--	--	--	--

指標名	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数（件）					
-----	----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3－5 8 7 1		
-----	---------	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

成年後見制度の利用が必要な身寄りのない重度の認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数

2 指標の意味

判断能力が不十分な認知症高齢者のための権利擁護の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における申立件数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	96	93	3件減	106	過去5年間の申立件数最高値の1%増	87.7%

	全国順位	中長期目標			備考 (参考：過去5年の申立件数) 平成25年度 97件 平成26年度 102件 平成27年度 105件 平成28年度 85件 平成29年度 96件	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		119	令和7年度	78.2%		本市として達成すべき数値

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度利用に係る市民ニーズに対応するため、当面申立件数を増加させる必要があることから、目標値の100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。
最高値：105件（平成27年度）

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
c	b	c

指標名	成年後見支援センター利用者数（人）					
-----	-------------------	--	--	--	--	--

担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3－5 8 7 1		
-----	---------	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

成年後見制度を必要とする方の発見から利用までの一貫した支援を行う成年後見支援センターを利用した方の実人数

2 指標の意味

成年後見制度の利用を必要とする方に対する支援の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	4,840	5,840	1,000人増	5,734	令和2年度の目標値達成のために当該年度達成すべき数値（毎年3%増）	101.8%

	全国順位	中長期目標			備考 平成24～28年度までの累計値 3,907 平成29年度 900（プラン策定時見込数値） 平成30年度 927＝900×1.03 令和元年度 955＝927×1.03 令和2年度 984＝955×1.03	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		7,673	令和2年度	76.1%		第7期京都市民長寿すこやかプランに掲げる目標値

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度に対する市民ニーズに対応するため、「第7期京都市民長寿すこやかプラン」に定める目標値を達成する必要があることから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
-	a	a